

指定校番号	30022	学級活動	○ 児童会活動	クラブ活動	学校行事
-------	-------	------	---------	-------	------

平成30年度生徒指導集中対策及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	尾道市立向島中央小学校	校長	本藤 展康	生徒指導主事	上野 貴司
-----	-------------	----	-------	--------	-------

取組事例名 『感謝を形に 感動を共に』

取組における育てたい資質・能力

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「コミュニケーション能力」	3	「主体性・積極性」	1	「自己理解・共感力」	2

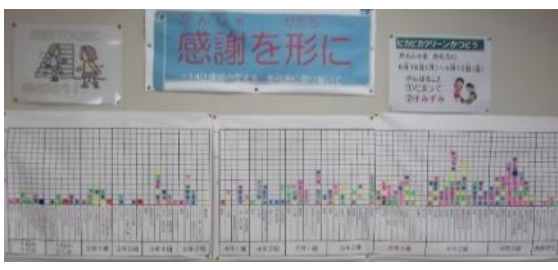
取組のねらい『キーワード 新校舎への感謝』

清掃活動に無言で隅々までを意識して取り組むことを通して、新校舎（4年目）で学習できることや支えてくださる多くの方々への感謝の心を育てる。

取組の具体的内容『キーワード 無言で隅々ピカピカクリーン』

【ピカピカクリーン活動】

- ・毎月第2週（月曜日～金曜日）を基本とした5日間の掃除時間を、ピカピカクリーン活動週間とする。
- ・「無言で・隅々まで」掃除ができているかどうか、振り返りの視点に沿って教師評価とグループ評価を行う。よく頑張っているグループにはシールを渡す。
- ・よくできていたグループを全校集会で表彰（「感謝を形に」ありがとう）する。



【生活委員会による呼びかけ】

- ・生活委員会が丁寧な掃除の仕方について、学期に1回全校集会で発表した。掃除時間の課題を自分達で見付け、掃除の模範を具体的に示したり、クイズや劇にしたりしてあるべき姿を考えさせたりした。



雑巾をジグザグに動かして、後ろに進みながら拭き取ります。



先生に見られていなくても、無言で掃除に取り組みましょう。

【保護者と一緒に活動】

- ・8月にPTA環境整備作業を行った。高学年児童も参加して普段できにくい箇所の掃除に取り組んだ。
- ・自分達の住む地域を大切にしようとする態度を養うため、10月に地域清掃活動を実施した。



（児童の感想）

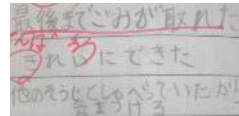
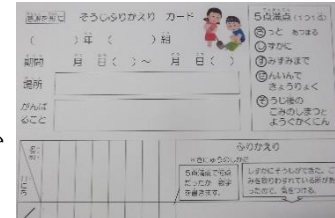
きれいになって気持ちもすっきりした。 地域の人から、「ありがとう」と言われてうれしかった。

取組の課題・創意工夫『キーワード 異学年とのかかわり』

・学級で掃除分担しているため異学年とのかかわりが薄いことが課題である。高学年が下学年の掃除場所に入って一緒に掃除を行う機会を設けるなど活動を工夫することで、高学年をお手本に、学年に応じた役割の自覚や学年を超えた仲間意識の醸成につなげていく必要がある。

取組の成果（効果）『キーワード 見える化による意欲向上』

・児童の頑張りの過程をグラフで「見える化」したり、全校で統一した振り返りカードを活用し、自己評価やグループ評価の充実を図ったりすることで、「自分達できれいにしていこう」とする意欲向上につながった。
 ・ピカピカクリーン活動期間中だけでなく、日常的に無言掃除に取り組む姿となって表れてきている。



児童自己評価

無言で隅々まで掃除に取り組んでいる。	9月	1月
	76.3%	83.4%



今後の展開『キーワード 広げよう 環境美化の輪』

・始業前や放課後に、自主的に児童玄関を掃いたり、落ち葉集めを行ったりしている高学年児童がいる。保護者、地域の方にも気持ちよく来校していただきたいという思いで、進んで環境美化に努めている。そのような姿が、人に感動を与え、みんなのために役立ったという満足感や充実感つながっていくことを実感させ、主体的に掃除に取り組もうとする児童の輪を広げていく。



他教科との関わり『キーワード 清掃の意義の理解 自己肯定感の向上』

・道徳科や特別活動の時間に「感謝」「勤労」「公共の精神」や「協力」「思いやり」などの価値項目と関連付けて、日常の清掃活動の意義を自分なりに見出させ、自己肯定感の向上を図っていく。